

# 尾張旭市産業振興基礎調査報告書 概要版

## 1 産業振興基礎調査の概要

### <調査の趣旨>

わが国の産業を取り巻く環境が大きく変化中、本市産業の特性や現状・課題等、今後の産業振興施策を検討していく上で必要となる情報やデータを得ることを目的に、令和2年度から3年度にかけて調査を実施した。

### <調査・分析概要と手法>

調査は、各種文献・統計データ分析を行うとともに、市内事業者に対しアンケート・ヒアリング調査を実施した。

## 2 国・県の動向

- **成長戦略実行計画**：2021年6月閣議決定。イノベーションを鍵に付加価値の高い新製品や新サービスを生み出すとともに、コロナ禍の下でも経済を牽引する**デジタルやグリーン**といった成長戦略を進めるとしている。
- **2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略**：2020年10月にわが国が「2050年カーボンニュートラル」を宣言したことを受け、「経済と環境の好循環」を作っていくことを目的に、2020年12月に策定された。
- **あいち経済労働ビジョン 2021-2025**：2021年3月策定。計画の目標を「世界に輝く国際イノベーション都市づくり」と設定し、**デジタル化への対応とモノづくり産業の集積拡充による愛知独自の成長モデル（愛知型成長モデル）**をより一層進化させ、産業競争力の強化を図っていくとしている。

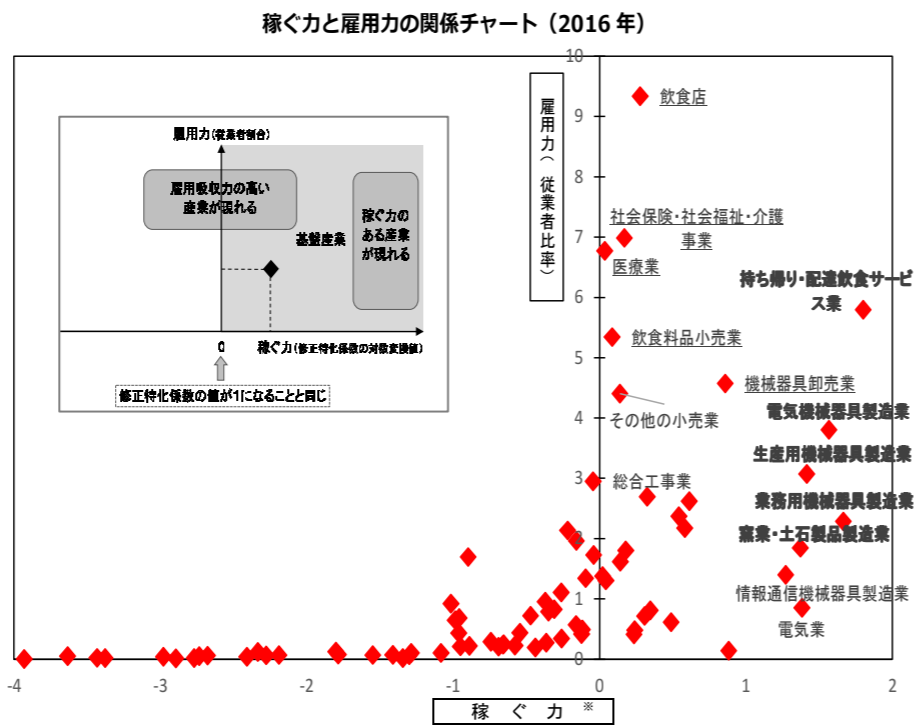
## 3 尾張旭市の産業特性－現況と課題－

### <人口・産業構造>

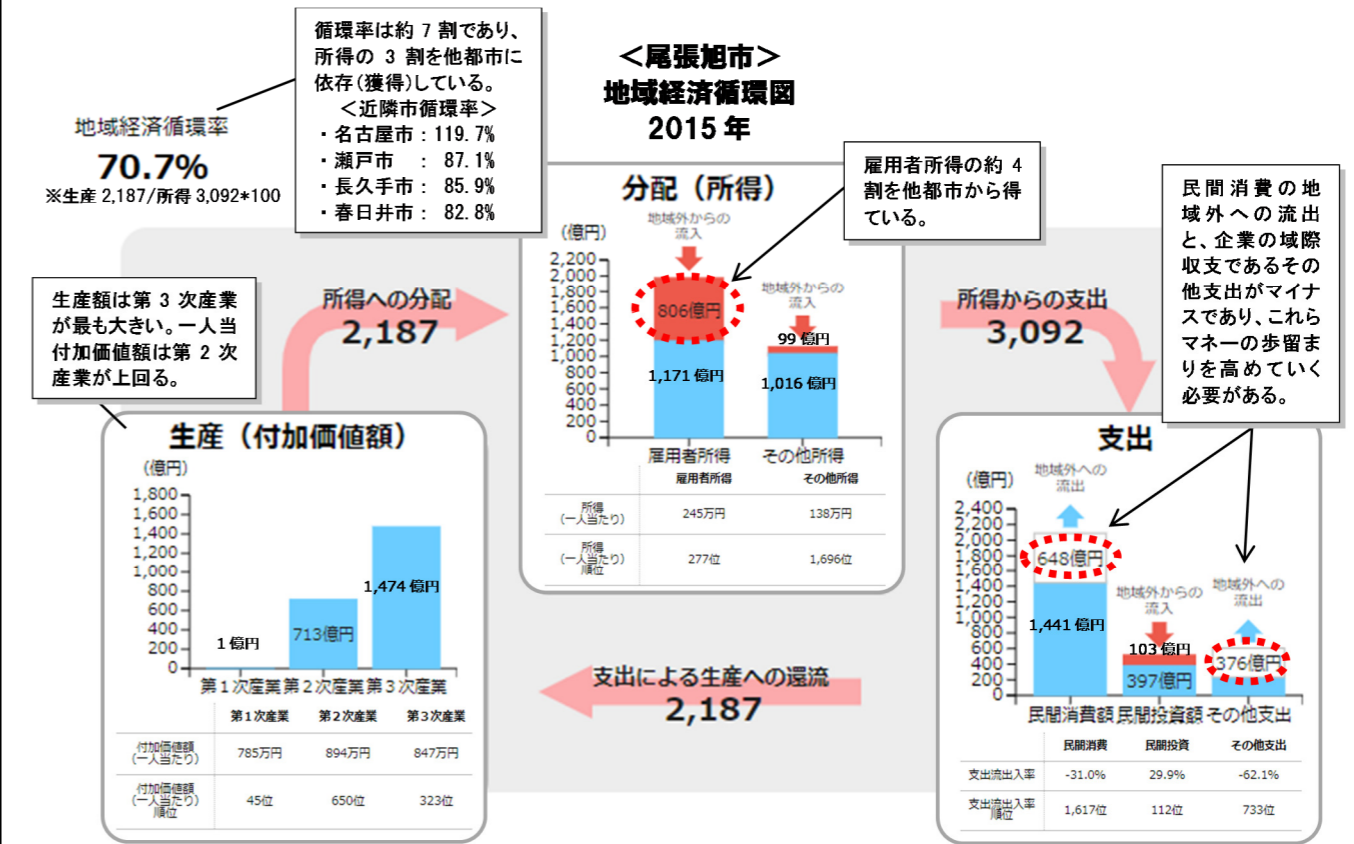
- **人口推移**：本市の人口は2020年において、83,144人と過去最高を更新。将来推計では、**今後緩やかな減少を予測。生産年齢人口は2000年より既に減少基調。**
- **就業状況**：就業者数は2015年で38,385人と微減傾向。就業先は66%が市外へ流出し、名古屋市へは37%を占める。

- **産業構造（大分類）**：事業所数では「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」「建設業」の順、従業者数では「卸売業、小売業」「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」の順に多く、小売、飲食をはじめとしたサービス業が多数を占める第3次産業が主体となっている。

- **稼ぐ力と雇用力（中分類）**：「持ち帰り・配達サービス」が域外から所得を稼ぎ雇用も生んでいる。電機機械器具製造業や生産用機械器具製造業などとともに本市の基盤的な産業になっている。



- **地域経済循環構造**：地域経済循環率は70.7%であり、**約7割の所得を市内で創出し、約3割を市外から獲得するベッドタウン型の構造。**将来的な就業人口減とともに、この獲得資金の縮小が懸念される。支出は、住民の消費や企業間取引の収支（その他支出）が流出超過であり、**市外からの“外貨”を稼ぐ産業（域外市場産業）の育成**等を図り、マネーの歩留まりを高め、循環率の向上が求められる。



### <産業特性のまとめ>

雇用吸収産業	「卸売業、小売業」、「製造業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」の4分類の雇用者が特に多い。
基盤産業（域外から所得を獲得し、域内に循環させて住民の所得になる産業）	「電気機械」、「情報通信機器」、「はん用・生産用・業務用機械」において移輸出が移輸入を上回っている。また、域外市場産業として「持ち帰り・配達サービス業」の役割が大きいことも特徴である。
基幹産業（所得を生み出す、域内で付加価値を生み出している産業）	付加価値額、雇用者所得とも電気機械製造業やはん用機械器具製造業をはじめとする、製造業や小売業が市民所得を支えている。また、「社会保険・社会福祉・介護事業」が多いことも特徴である。

本市では、電気機械、情報・通信機器、はん用・生産用・業務用機械をはじめとする製造業で域外からの資金を獲得し、域内を市場とする卸売・小売業、飲食サービス業、医療・福祉等のサービス業において所得を生み出すとともに、雇用を支えている。

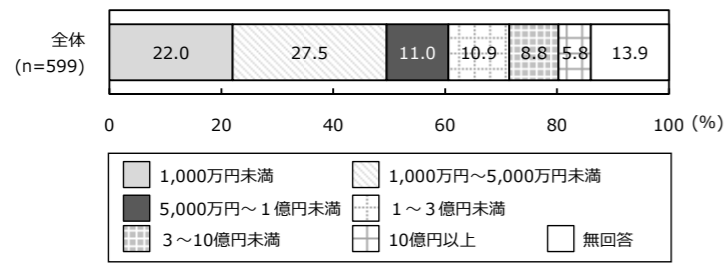
雇用者所得の4割は市外で働く就業者からの獲得であり、今後の人口動向を注視しつつ、市内雇用の拡充をはじめ、企業間の取引マッチング、消費促進、新産業導入・立地支援等、市内経済の好循環を形成しながら、市内での所得拡大をめざしていくことが必要となる。

#### 4 アンケート・ヒアリング結果

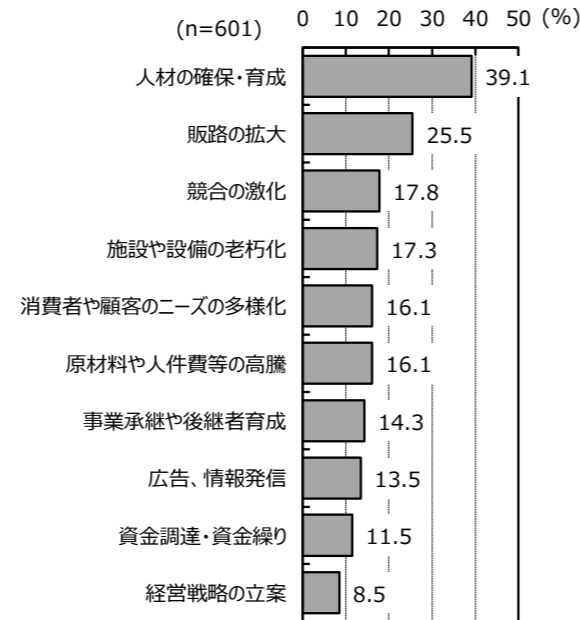
##### <事業者アンケート調査より>

■ **現在の事業の状況と見通し**：直近決算期の売上は、「1,000万円～5,000万円未満」が約3割と最も高い。3年前との比較では『減少』が6割弱を占め、その理由は、「新型コロナウイルス感染症による影響」が約7割となっている。**事業の課題は「人材の確保・育成」が抜きん出ており、次いで「販路の拡大」、「競合の激化」の順で高い。**

■ 直近決算期の売上高



■ 事業実施にあたっての課題 (上位10件)

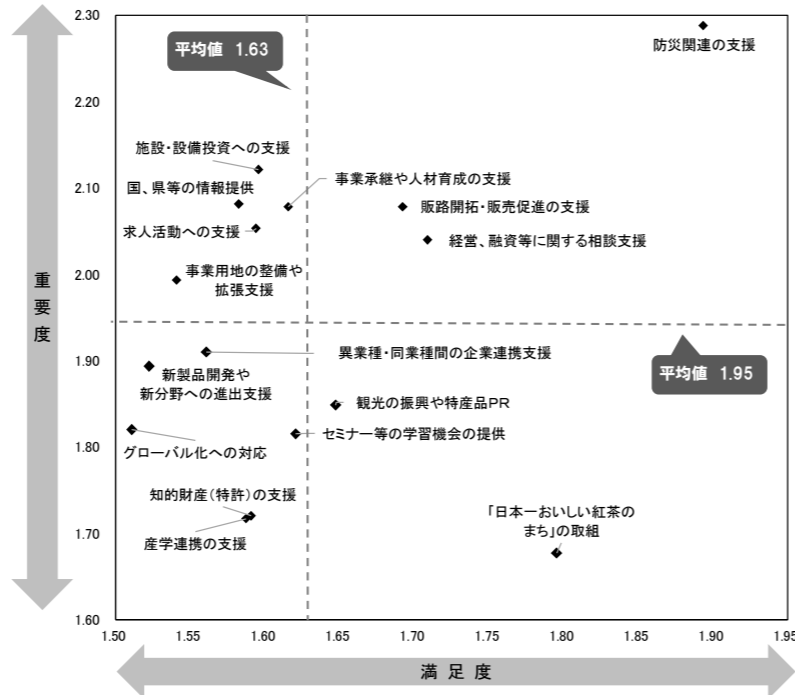


##### ■ 尾張旭市の取り組みに対する満足度・重要度：

満足度・重要度がともに高い施策は「防災関連の支援」、「販路開拓・販売促進の支援」、「経営、融資等に関する相談支援」となっている。

一方、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い施策は「施設・設備投資への支援」、「国、県等の情報提供」、「事業承継や人材育成の支援」、「求人活動への支援」、「事業用地の整備や拡張支援」となっており、ニーズが高いことが想定される。

■ 市の取り組みに対する満足度・重要度散布図



##### <事業者ヒアリング調査より>

■ **尾張旭市の有する産業振興上の強み・弱みについて**：強みについては、特に製造業において、名古屋市に隣接しており**利便性が高く、広範囲な取引がしやすい**、課題はあるが相対的には人材の確保がしやすいとの意見が多くみられた。弱みについては、**企業の立地に適した用地が少ない**、周辺の住環境への配慮が必要、本市の認知度が低い、企業同士のつながりや交流が少ない等の意見がみられた。

■ **尾張旭市の産業振興に当たって必要な支援策について**：人材確保・定着に関する支援が多くの企業であげられた。また、インフラなど設備投資支援も求められている。さらに、企業情報の発信と企業間の情報交流の推進とともに、**尾張旭市自体の認知度の向上を図り、人材応募や企業間取引、観光等において選ばれる施策を推進すべき**との意見が寄せられている。

#### 5 今後の産業施策の方向性の検討について

■ **人材確保・育成に関すること**：企業の様々な特徴や魅力等の情報収集・発信、幼いころから職業体験ができる機会の創出。女性・若者・高齢者・障がい者等の活躍推進などにより人材力の強化、外国人材の活用。

⇒市内企業情報の収集・発信や企業体験・交流の促進・テレワークの推進による、職住近接した環境の充実・副業・兼業人材の活用等

##### ■ 具体例

- ・青森県八戸市：**市内企業情報の発信**  
産業立地ガイド、就職情報サイトの作成・運営
- ・福岡県糸島市：**テレワークの環境支援**  
女性が子育てしながら働けるコワーキングスペース、サテライトオフィスとして活用するテレワークセンターの設置



■ **経済好循環の創出に関すること**：域外市場産業を強化するため、市内中小企業の販路・事業拡大、起業・創業の支援を行うなど、新たな価値創造のための取組を促進。さらに地域資源を活かした観光まちづくりの推進。

⇒市内取引マッチング・伴走型コンサルティング・事業承継・起業支援・電子地域通貨による消費喚起・テーマ特化型観光まちづくり等

##### ■ 具体例

- ・愛知県岡崎市他：**伴走型コンサルティング支援**  
助成金の紹介や財務分析だけでなく、売上増につながるアイデアを伴走型で提案していくビジネスモデル型経営相談センターの設置
- ・大阪府八尾市：**事業承継・起業支援**  
ベンチャー型の後継ぎを育成する事業継承支援の実施



■ **グリーン化・DXの取組に関すること**：デジタル技術導入の積極的な促進により、中小・小規模事業者の競争力、付加価値力、生産・販売力を拡大。2050年におけるカーボンニュートラルを念頭に置いたグリーン化を促進する。

⇒中小企業等のDX推進支援・スマートシティ化の推進・グリーン化によるESG投資の促進等

##### ■ 具体例

- ・静岡県浜松市：**中小企業等のDX推進支援**  
市内企業のDX推進による成長支援
- ・神奈川県横浜市：**イノベーションの創出支援**  
中小企業の優れた技術力を行政運営上の技術的な課題解決に積極的に活用する仕組みを構築。グリーンエコミーを創出する仕組みとしても期待されている。

